

9/14 (水) ソフトで関東準優勝

茨城県ひたちなか市で開催された「第33回関東小学生男・女ソフトボール大会」女子の部で準優勝した矢板イースターズの皆さんが市長を表敬訪問しました。同チームは、東小学校の1～6年生14人で構成されており、決勝戦では、大会2連覇中のオールあきる野女子チームにタイブレークの末惜敗し、準優勝となりました。市長からは、「6年後の栃木国体のチームとちぎジュニア選手に認定された選手もいるので、地元開催の国体に向けてぜひ頑張ってもらいたい」との激励がありました。



(上写真・上段) 右から
・大柿ソフトボール協会会長
・齋藤市長
・渡邊体育協会会長

9/24 (土) 女性限定! 林業体験ツアー

25(日)にかけて、「林業体験ツアー」が開催されました。これは、将来、林業に携わる女性を増やすきっかけづくりとして、「木の駅プロジェクト実行委員会」が主催したものです。当日は、市内外から15人の女性が参加し、林業の現状について説明を受けた後、森林組合職員の指導の下、間伐材の伐採体験やチップ工場を見学しました。千葉県から参加した大学生は、「木の伐採が思ったより難しかった。林業を核とした地域ぐるみの取り組みが素晴らしいと思った」と話してくれました。



9/24 (土) 蔵を生かしたまちづくり

矢板武記念館で、「蔵 DE Night!!」が開催されました。このイベントは、矢板武塾の卒業生を中心としたまちづくり団体「蔵*武 Project」が矢板武記念館にある二つの蔵を、人が集まり文化が交わる場所へと再生し、魅力ある場所を作ることを目的に開催しているものです。当日は、時折小雨の降るあいにくの天気でしたが、蔵の中では紙芝居や民話の語り、演奏会などが行われました。また、庭園に並ぶ数多くのキャンドルが創り出す幻想的な景色を、来場した皆さんは楽しんでいるようでした。



10/2 (日) 初・かたおか軽トラ市

片岡駅西口通りで、「かたおか軽トラ市」が開催されました。軽トラ市は、市内ににぎわいを創り出そうと商工会が企画し、開催しているものです。9回目を迎える今回は、昨年3月にリニューアルした片岡駅周辺で初めての開催となり、約60台が出店しました。当日は、市内外から約1万人の方が来場し、各店舗をまわって行くスタンプラリー、無料苗木配布会、矢板高校のPRブース、特設ステージでのバンドやお囃子演奏など、イベントも大いに盛り上がりしました。



10/4 (火) シルバースポーツ大会

運動公園陸上競技場で、「第43回シルバースポーツ大会」が開催されました。この大会は、心と体の健康づくりや地域の仲間との親睦を図ることを目的とし、矢板市シニアクラブ連合会を中心に行われているものです。当日は、秋晴れの下、23団体・約400の方が参加し、輪投げやパン食い競争などおなじみの競技から、今年から新しく加わったグラウンド・ゴルフ競走、風船送りリレー、そして、最後のブロック対抗・紅白まり入れの全12種目の競技を笑顔で楽しみました。



10/4 (火) 災害対策説明会を初開催

文化会館小ホールで、市介護サービス事業者連絡協議会と共催で「災害対策説明会」を初開催しました。これは、自然災害が各地に深刻な被害をもたらしている現状を受け、市内の介護サービス事業者や障害福祉サービス事業者等を対象に、自然災害発生時に高齢者や障がい者の安全を確保するための説明を行ったものです。当日は、気象用語の意味や警報発表時取るべき行動、市から発信される災害情報の受け取り方などが説明され、災害に対して改めて認識を深める機会となりました。



10/15 (土) 夜空に花咲く! つつじの郷やいた花火大会 2016

道の駅やいた周辺で、「つつじの郷やいた花火大会 2016」が開催されました。この花火大会は、市民の有志によって「矢板市を盛り上げよう」と行われているもので、今回で10周年を迎えました。当日は、ファミリータイムに加え、10周年記念イベントとして、ハロウィン仮装大会「やいた de ハロウィン」が開催されました。市内外から34組・97人が出場し、こだわりの仮装を披露しました。また、1時間に渡り、音楽に乗せて打ちあがるなど趣向を凝らした約1万発の花火が、訪れた約3万人の方を楽しませました。

